

第 1 1 8 6 回教育委員会会議録

1 日 時 令和 6 年 1 2 月 2 6 日（木） 午前 1 0 時 0 0 分～午前 1 1 時 3 0 分

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 藤丸教育長 南部委員 原委員 山本委員 森下委員 横井委員
松下学校教育監 廣部副部長
山本副部長(高校教育)
廣瀬教育政策課長 遠藤教職員課長 岡本義務教育課長
志尾生涯学習・文化財課長 松枝保健体育課長

4 議 題

日程第 1 第 3 8 号議案 令和 7 年度福井県立学校寄宿舎指導員・実習助手・技能労務職員
採用選考試験の採用内定者の決定について

日程第 2 第 3 9 号議案 令和 7 年度福井県公立学校再任用教職員採用内定者の決定につ
いて

日程第 3 第 4 0 号議案 福井県文化財保護審議会委員の任命について

日程第 4 第 4 1 号議案 令和 6 年度福井県学校保健・学校安全・学校給食表彰者の決定につ
いて

日程第 5 第 4 2 号議案 教職員の懲戒処分について

5 審議事項

(1) 開会宣告 午前 1 0 時 0 0 分

(2) 会議録署名人の指名 原委員 山本委員

(3) 議事要録

教育長 本日の日程第 1 第 3 8 号議案から日程第 5 第 4 2 号議案、協議報告事項の
2 から 6 については、事務執行上、公開が適当でないことから、非公開とする旨
発議

———当該議案を非公開と決する———

◎協議・報告事項

(1) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

南部委員 非常に良い成績であり、素晴らしいことだと考える。ただし、小学生では1位を維持している一方で、中学生では順位が下がる傾向が見られる。これについて、他県の取組が進んでいるためなのか。学年はスライドしていくため、小学生で1位であれば中学生でもそのまま維持されるように思われるが、分析はどうなっているのか。

保健体育課長 一概に要因を分析することは難しいが、運動部の加入率が全国的にやや低下しており、本県においても同様に低下している。一方で文化部の加入率は上昇しており、文化部を選択する生徒が増えている。その結果、スポーツに取り組む生徒全体が減少していることが一因であると考えている。

南部委員 1位にこだわる必要はないと考えるが、県内の地域差はどうなっているのか。

保健体育課長 地域間の詳細な分析まではまだ実施しておらず、本日は全県的なデータとして報告している。

横井委員 調査結果を活用し、「子育てするなら福井が有利」といった情報発信を他部局で行うべきではないかと考えるが、教育委員会として関与しないのか。

保健体育課長 実際に「学力、体力、日本一」といった形で、子育て施策や人口減少対策の一環として発信を行っている。教育庁単独ではなく、全庁的な取組として実施している。ただし、教員が努力している中で、順位に過度にこだわることは適切でないとの考えもあり、まずは体育を楽しむことに重点を置き、その結果として良好な成績が継続することを目指す方向で取り組んでいる。

横井委員 常に1位を維持していることは、教職員の意識向上にもつながっていると考える。教育委員会としてこれだけの成果を上げていることは評価すべきであり、この結果の活用について、県の広報や他部局に対して積極的に提言すべきではないか。教育委員会の取組成果をより広く活用するよう働きかける必要があるのではないか。

森下委員 先ほど運動部の話題があったが、オリンピックでは多様な種目が実施されている。少子化に伴い部活動の統合や地域移行が進められている中で、例えばダンスのように、子どもが興味を持ちやすい種目を取り入れることが重要ではないか。指導者確保の課題はあるものの、そのような部活動があれば、子どもが主体的に体を動かす機会が増え、新たな可能性が広がると考える。

保健体育課長 部活動については、休日の地域移行が進められている。例えば、平日はバスケットボール部に所属し、休日も同じ競技を行うケースが多いが、今後は休日に地域のダンス活動に参加するといった形も想定される。こうした地域移行を活用し、運動機会が減少しないよう取組を進めていく。

原委員 持久走および20メートルシャトルランの結果を見ると、順位は良好であるものの、5年前と比較すると持久力が低下している傾向が見られる。それでも順位が維持されているのは、全国的に持久力が低下しているためと考えられるが、持久力向上のための取組は検討されているのか。

保健体育課長 現在の児童生徒は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世代であり、その影響を無視することはできない。コロナの影響を受けていない令和元年度の水準に近づけることを目標とする必要があると考えている。影響の完全な解消には時間を要するため、長期的な視点で目標を設定し、継続的に取り組んでいく必要がある。

教育長 日程第1、第38号議案を議題

教職員課長 資料に基づき説明

教育長 第38号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案通り可決—————

教育長 日程第2、第39号議案を議題

教職員課長 資料に基づき説明

教育長 第39号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案通り可決—————

教育長 日程第3、第40号議案を議題

生涯学習・文化財課長 資料に基づき説明

教育長 第40号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案通り可決—————

教育長 日程第4、第41号議案を議題

保健体育課長 資料に基づき説明

教育長 第41号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案通り可決—————

◎協議・報告事項

- (2) 令和7年度福井県市町立小・中学校事務職員採用試験および障がい者を対象とした福井県職員（小・中学校事務）採用試験の採用内定者決定について
- (3) 令和5年度公立学校教職員の人事行政状況調査について
- (4) ふくい教育ミライレポート（不登校対策）等について
- (5) 国登録無形民俗文化財（民俗技術）の新登録について
- (6) 福井県指定文化財の指定に係る諮問について

教育長 日程第5、第42号議案を議題

教育政策課長 資料に基づき説明

教育長 第42号議案について、原案に対する異議の有無を確認

————原案通り可決————

教育長 本日の会議の終了を宣言

6 閉会宣言 午前11時30分